

ふるさと 資料紹介

＝(67)＝

史料と地名からみた 地区の歴史22

加茂野 (五)

「市橋」という地名は中世の土地支配者の名(名田^{みやた})から付けられたと推測されています。

十九世紀初めの文化年間、市橋村は戸数三九、人口二二八。明治二年では、三四戸、一六〇人という記録があります。関市に近い宝積寺^{ほうしやくじ}の本尊・一面観音菩薩は寄木作りの仏像。鎌倉時代の流れをひくものとして昭和三十七年に県の指定文化財になっています。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成八年十二月分)

○うなぎ用ウケ(漁具)、裁縫具など 十二点

○ゴツチャババ(カジカ)用ウケなど 十四点

(朝日幸男さん/三和町)

(藤掛賢司さん/三和町)



カジカ用ウケ



▲ウケ(漁具)

○石取り用マンガなど 八十点
(渡辺福三郎さん/川合町)

○ジヨレン 二点

(飯田為守さん/下米田町)

○いろはカルタなど 十九点
(渡辺叶子さん/太田町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内/内四〇八)まで情報をお寄せください。